岩盤ボーリング柱状図

調　査　名　比和友定平地区　測量設計地質調査業務委託（急傾斜地崩壊対策・交付金）比和友定平地区

事業名 または 工事名　比和友定平地区　測量設計地質調査業務委託（急傾斜地崩壊対策・交付金）比和友定平地区

調査目的及び調査対象　河川 掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor.3	**調査位置**	広島県庄原市比和町比和			**北緯**	34° 59′ 8.2494″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所			**調査期間**	2022年 6月 7日 ～ 2022年 6月 9日	**東経**	132° 58′ 51.0520″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 445.57m	**角度**	180°上下90° 0° 0°	**方位**	北0° 270°西 90°東 180°南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直90° 36°
総削孔長	8.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦DO-D		
				エンジン	ヤンマーNFD13	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	地質時代名	記事
1	444.57	1.00		礫混じりシルト質砂	暗茶							0 [0] (100)	完新世	表土 黒ボク主体で角礫を含む 含水少ない
2	442.57	3.00		礫質土	淡褐灰							0 [0] (100) 0 [0] (100)	完新世	崖錐性堆積物 強風化部の可能性あり 原岩組織不明瞭で一部粘土化 コアは土砂状で採取され指圧で変形する
3	440.87	4.70		流紋岩	淡褐灰	w1	h1	E	V	d	D	0 [0] (100) 8 [0] (100)	完新世	風化流紋岩 コアは風化作用により表面がザラザラしている 上位層よりやや締まってくる 原岩組織のがやや明瞭化する
5	440.37	5.20		流紋岩	淡青～青灰	w3	h3	D	III	c	CL	18 [30] (100)	後期白亜紀	流紋岩CL級 コアはL_s=5～10cmの短柱状コアよりなる 亀裂周辺は褐色変質しており開口気味である
6						w2	h2	C	II	b	CM	17 [42] (100)	後期白亜紀	流紋岩CM級 硬質な流紋岩よりなりコアは棒状で採取される 亀裂間隔は10～15cm前後でである 亀裂の角度は高角度と低角度が混在している ハンマー打撃で金属音を発する
7	437.57	8.00										20 [45] (100)	後期白亜紀	

孔内水位／測定月日：6.9 2.30

ルジオン　標準貫入　試験

N値	ルジオン値
14 (300)	1.15 / 1.45
11 (300)	2.15 / 2.45
36 (300)	3.15 / 3.45
50 (300)	4.15 / 4.45

P－Q 深度－N値 図
P：有効注入圧力 MPa
Q：注入量 l/min/m
( )：換算ルジオン値
(( ))：限界圧力

N値 ○ 0 10 20 30 40 50

原位置試験　室内試験

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
6/7	100	80/B2						
	80		SC/DB	1.0	10	0.0	W1/15	0
6/8	50		DD/DB	5.0	50	100.0	W2/15	5